



みゃ〜く使ひ

〜宮古家畜保健衛生所〜

令和3年6月発行
 沖縄県農林水産部
 宮古家畜保健衛生所
 宮古島市平良字西里1951
 TEL (0980) 72-3321
 FAX (0980) 72-6673

暑熱対策はできていますか？



今年も6月となり、まだ梅雨は開けていませんが、暑い日が長く続いています。暑さ対策をしっかりと行い、少しでも快適に過ごせるようにすることで、皆さんの財産である家畜を守りましょう。

牛 水分・塩分の補給

- いつでも新鮮な水を飲めるようにする（できれば冷水）
- ビタミンやミネラルを与える（鉍塩やザラメで補給できる）

畜舎 屋根・壁に断熱材の設置・塗布または散水

- 石灰を溶かしたものを屋根に吹き付け、日光を反射させる
- 畜舎のそばにグリーンカーテンを設置するのも効果あり
- 畜舎の屋根や周囲に散水・放水し、温度を下げる

注意

残飼が多い、飼槽が濡れるほどのよだれ、口を開けて早い呼吸をするなどの熱中症の初期症状には、冷水を飲ませる、送風して冷やすなど早めに対処し、獣医師の診察を受けさせましょう。

台風の時期がやってきます〜早めの対策を取りましょう〜

台風の被害は主に

「トタン屋根の破壊」「家畜の死亡やケガ」「サイレージの破損」です

★トタンは飛ばないように補強

- ・ 屋根が飛ばされると雨風によって家畜が衰弱し、最悪死ぬことも
- ・ 飛来したトタンは大変危険であるため、家畜が怪我をすることもあります

★サイレージは乾燥庫または1か所にまとめてロープで縛る

- ・ 500kgの大きなサイレージも転がります
 →ラップが破れ、水や空気に触れると腐ったり、カビが生え、使用不可になります

台風対策は風が強くなる前に行い、被害を最小限にとどめましょう！

農家の皆様

種付けでの確認のお願い

血統矛盾を防止するためにも、下記の項目について確認し、種付けをおねがいます！

①種付けする牛はありますか？

種付けの前には授精師といっしょに耳標・登記書を確認しましょう。耳標がついていないときは、すぐに再発行申請しましょう。

②初回発情ですか？再発ですか？

21日以内の再発の場合、初回とちがう種雄牛をつけてしまうと**遺伝子検査（農家負担）**になってしまいます。再発のときは、同じ種雄牛をつけてもらいましょう。

③再発の種付けで授精師が変わった場合、新たに授精証明書（種付け証明書）をつくってもらいましょう。

授精師ごとに種付け証明書をつくってもらいましょう。再発の種付けで授精師が変わった場合、**子牛登録のときには種付け証明書が2枚以上ある**こととなります。もらった証明書は、子牛登録までたいせつに保管しましょう。なお、**種付け証明書の再発行はできません**ので、保管には十分気をつけましょう。

④繁殖台帳をつくりましょう。

牛は大切な財産です。いつ、どの牛に、何の種雄牛を付けたかわかるように、台帳をつくって保管しておきましょう。

※未経産牛への種付けは、必ず10ヶ月齢以上でおこなってください。

鹿児島からの導入牛は 全頭検査します！

沖縄県全体で、オウシマダニをいれないため、鹿児島県からの導入牛は全頭、薬浴(殺ダニ剤の投薬)と血液検査を行っています。



オウシマダニ



オウシマダニはバベシア病(家畜法定伝染病)を媒介するダニで本県では平成11年に撲滅を達成し存在しません。
※ 撲滅には多大な費用、労力、時間を要しました。



バベシア原虫

バベシア病(家畜法定伝染病)は、赤血球に寄生し、貧血を起こす病気です。重症化すると死亡します。

鹿児島県から牛を導入する場合には、事前に家畜保健衛生所に連絡をお願いします。過去に導入した牛に関しても検査を致します。

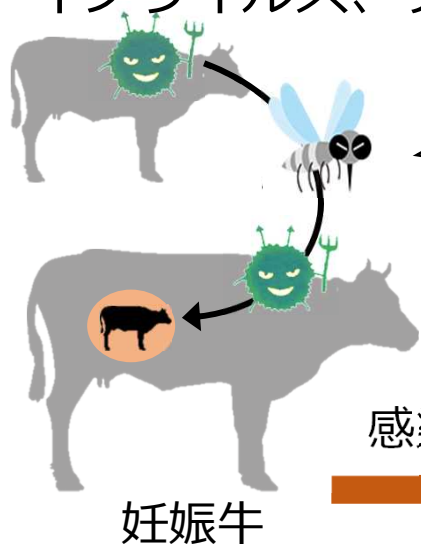
宮古家畜保健衛生所 TEL 0980-72-3321

異常産の予防接種をしましょう！

妊娠牛がウイルスに感染すると、流産、異常産(体形異常を持った子牛)が生まれる可能性があります。

●異常産は治療法がなく、子牛の価値が失われるため、大きな損害となります。

●代表的な原因ウイルスに、アカバネ病ウイルス、アイノウイルス、チュウザンウイルスがあります。



蚊やヌカカなどの吸血昆虫によってウイルスが運ばれます。



神経症状(眼球振とう)、起立不能を示す子牛

・予防接種について：

アカバネ病生ワクチン … 900円

※ **3種混合不活化ワクチン** … 1,400円

※予防できるウイルス：アカバネ・アイノ・チュウザン

※初めての場合は、1ヶ月後に2回目の接種が必要

・ワクチンの効果：1年間

→ウイルスに対する免疫が低い若齢の母牛(**未経産～3産程度**)は**予防接種を毎年**することをおすすめします。

・接種対象外の牛：

分娩1ヶ月前、妊娠鑑定前(種付け後1ヶ月以内)、治療中

**接種日：月1回
第2水曜日**

予防注射の申し込みは、
宮古島市畜産課へ
(TEL：79-7814)

問い合わせは、
宮古家畜保健衛生所まで
(TEL：72-3321)

牛の異常産や異常産ワクチン接種について 皆様に知ってほしい2つのこと

1 異常産ワクチンは、子牛という貴重な財産を守ることに貢献します！

1.1 異常産ワクチンのメリット・デメリット

| メリット | デメリット |
|---------------|---------------------------|
| アルボウイルス感染症の予防 | まれに副反応 |
| | コスト (900円/頭または1400円/頭) |

- 異常産は感染症・栄養障害・中毒・遺伝病などで引き起こされ、そのリスクは1%程度とされています。
- 牛異常産ワクチンの副反応（アナフィラキシーショックなど）の報告は、ほとんどなく、安全性の高いワクチンです。
- 平常時の異常産リスクは1%ですが、感染症の蔓延により、異常産のリスクが10%に上昇する可能性があるという報告もあります。

1.2 異常産ワクチン接種で得られること・接種しないことで損するリスク

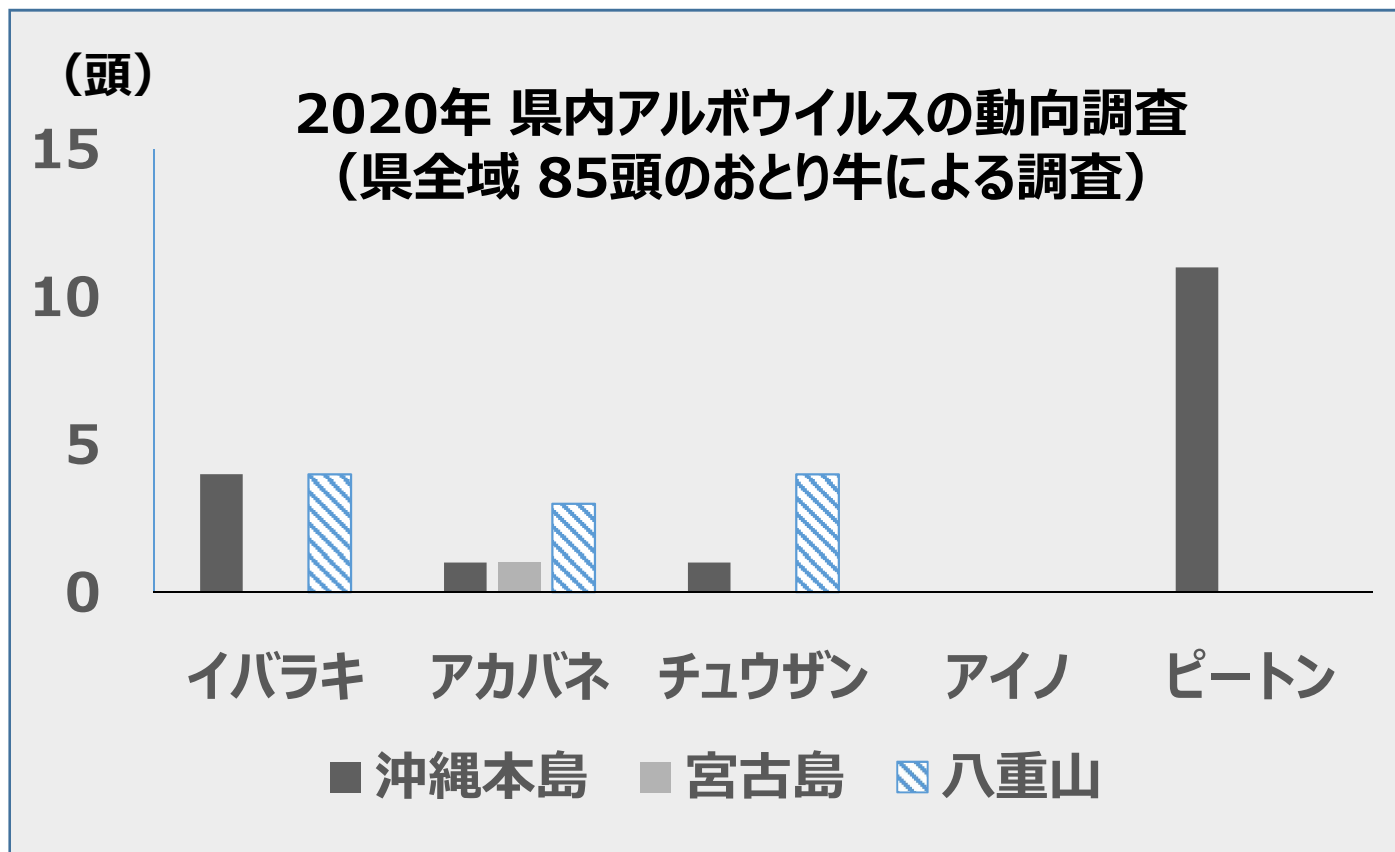
| 接種で得られること | 接種しないことで損するリスク |
|-------------------------------|-------------------------|
| 異常産リスク上昇を抑制できるため、セリでの利益を確保できる | 異常産リスク上昇で子牛失い、セリでの利益が減る |
| 母牛の分娩事故リスクが低減される | 母牛を失う |

- アルボウイルス感染による異常産が大流行した1972・1975年では、日本国内で数万頭の牛が失われ、損害総額は当時の金額で50億円とされています。
- 2005-7年に九州地域で流行が見られた際には、約250頭の牛が失われました。
- 異常産は母体への負荷が大きいため、分娩事故で母牛を失うこともあることから、経済的損失が大きくなるリスクがあります。

異常産リスクの上昇で子牛を失い、セリでの利益が減ることを考えた場合、ワクチン接種は効果的です。

牛の異常産や異常産ワクチン接種について 皆様に知ってほしい2つのこと

2 沖縄県全域で異常産を起こすウイルスの侵入が確認されています！



沖縄県全域で異常産を起こすウイルスの
侵入が確認されました。

いつでも宮古島にウイルスが侵入し、
異常産のリスクが上がる可能性があります！



ワクチン接種で
異常産のリスクが軽減されます！

もっと異常産ワクチンについて
知りたい方は



宮古家畜保健衛生所
(TEL: 72-3321)